

令和4年度（2022年度）オホーツク管内（地域） 学校ICT環境・活用等連絡会議

令和4年（2022年）8月 発行
北海道教育庁オホーツク教育局

令和4年（2022年）7月20日（水）、オホーツク総合振興局地域政策課、各自治体のICT担当、教育委員会、学校関係者が計35名に御出席いただき、Web会議システムを活用し、オンラインによりオホーツク管内（地域）学校ICT環境・活用等連絡会議を開催しました。



GIGAスクール構想下におけるICT活用の充実に向けて

会議の目的

関係行政機関及び市町村教育委員会、学校が、各地域におけるICT環境や学校におけるICTの活用、デジタル人材の育成、通信環境の整備等について、情報共有を図るとともに、学校や行政機関等が協力して取り組める事項について情報交流を図る。

説明の概要

説明者：オホーツク教育局教育支援課義務教育指導班主任指導主事 生田 裕章

1 GIGAスクール構想における1人1台端末及び高速通信環境の整備について

- ・GIGAスクール構想により、全国の小・中学校に1人1台端末及び高速通信環境を整備する取組を進めています。
- ・1人1台端末と高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子どもを含め、多様な子どもたち一人ひとりの資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現し、「学びの深化」と「学びの転換」を目指します。

2 1人1台端末の活用に向けた課題について

- ・教職員間で学校におけるICTを活用した指導力の差が見られます。
- ・朝の健康観察や端末を活用した宿題など、児童生徒が日常的にICTを活用できる環境の構築が必要です。
- ・非常時に端末を持ち帰りオンライン学習が実施できるよう、必要な準備を早急に行う必要があります。

3 道教委の取組について

- ・ICTポータルサイトを開設し、1人1台端末を活用した授業改善に係る資料提供による支援
- ・道教委の「ICT活用授業指針」に基づく実践を行い、成果と課題を普及する「ICTを活用した学びのDX事業」による支援
- ・道教委ICT活用サポートデスクの開設及びまなLabo展開事業によるICT環境整備への支援



ICT教育推進課
トップページ

情報交換の概要

進行：オホーツク教育局義務教育指導監 佐藤 大

①学校におけるICTの活用状況、オンライン学習の取組状況及び課題について

小・中・義務教育学校

- ・予習復習におけるeラーニングの活用及び共同編集アプリ等を活用したグループ協議、フォームを活用したテストの実施等を実践している。端末持ち帰りによるオンライン学習は、学校間で差が見られる。

特別支援学校

- ・他校とのWeb会議システムを活用した交流等、コミュニケーションツールとして活用している。

高等学校

- ・探究の時間における調べ学習及び課題の配信、全校集会の配信等を行っている。

②各市町村における地域のICT環境の整備に向けた取組状況について

- ・国の高度無線環境整備推進事業を活用し、域内の通信インフラの整備を推進し、高速通信ネットワークが整備されている。
- ・役所庁舎や児童館、図書館、公民館、道の駅等の公共施設に、フリーWi-Fiスポットを設置し、各自治体で通信費の予算付けを行っている。

③市町村教育委員会における学校のICT環境の整備等に向けた取組状況について

- ・通信環境がない家庭への支援について、教育委員会がレンタル用のモバイルルーターを用意し、必要な家庭へ貸出ししている。
- ・低所得の家庭に対して、通信費の一部を負担するなどの補助を行っている教育委員会がある。
- ・教員のICT活用指導力向上に向けて、教育委員会が主体となって、外部講師を招聘した研修会を開催したり、ICT推進委員会を開催して実践交流や情報提供を行ったりしている。



〔今後に向けて〕

管内における学校のICT環境やICTの活用、デジタル人材の育成等に関し、学校等の取組や行政機関の施策等について交流することにより、各地域の推進状況や課題、改善等に向けた取組の共有を図ることができました。各市町村におかれましては、他地域の取組を参考にして、各自治体におけるICT環境の充実を図っていただくよう、お願いいたします。教育局としましては本連絡会議の情報を基に、学校におけるICT環境の整備やICTを活用した授業改善、研修の充実に向けた支援を進めてまいります。